

イモビバイパスアダプター(IBA-04)のコイルアンテナの取り付けについて

イモビバイパスアダプターは、コイルアンテナによって車両側のアンテナと通信を行い、イモビライザーを解除する役割を持っています。通信は車両側のアンテナとコイルアンテナの間で行いますが非常に微弱な電波のため、アンテナの取り付けが適切でないと通信できません。

イモビバイパスアダプターを取り付ける際は、コイルアンテナと車両側のアンテナの位置関係を適切に設置する必要があります。また、イモビバイパスアダプターのユニット内へ収納するキーの位置も重要です。

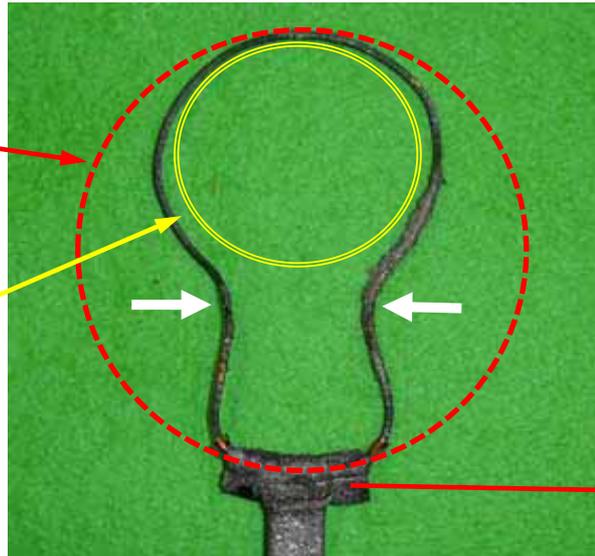
コイルアンテナのフォーミング作業

通信が良好な状態で行えるよう、車両側に合わせてコイルアンテナの取り付け形状を整えます。

コイルアンテナの原型

汎用サイズのため若干大きめになっています。

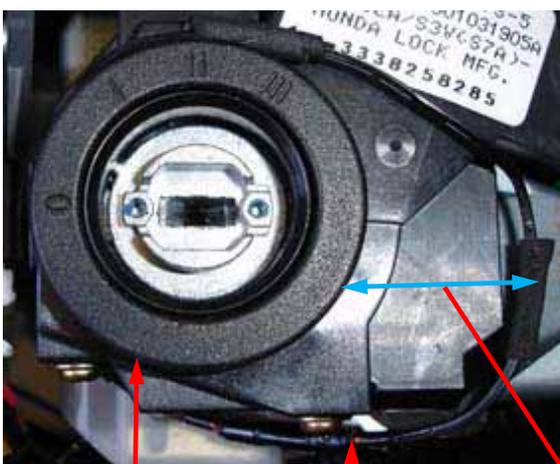
車両側アンテナ部の外周



注)この部分には直接応力を与えないようにしてください
断線やショートし、通信できなくなります。

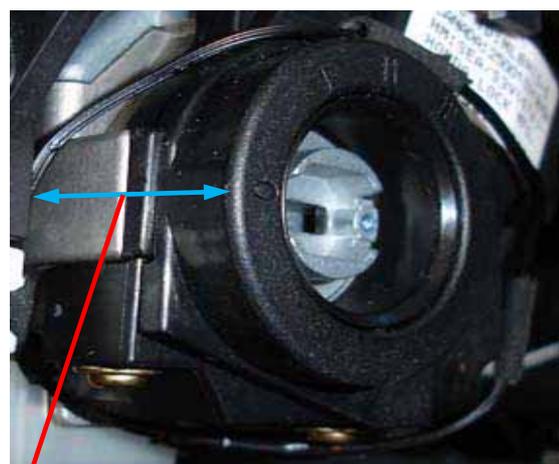
アンテナの根本には応力を与えないよう注意してください。

うまく通信が出来ない場合の取り付け例



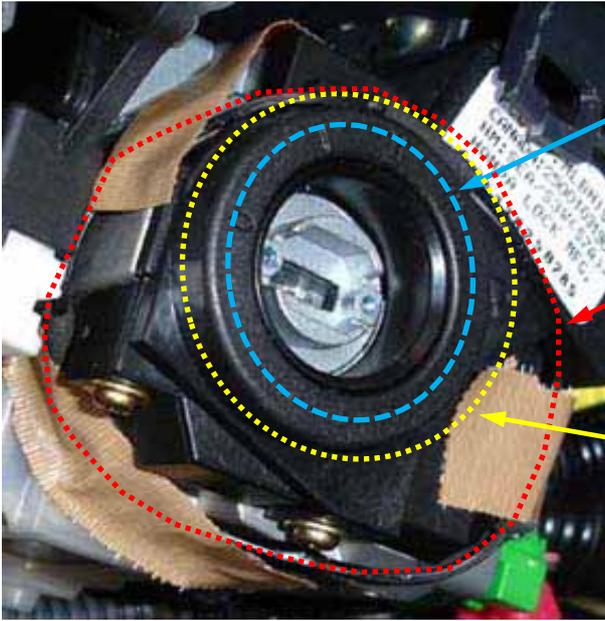
車両側アンテナ部

コイルアンテナ



このような場合、車両側のアンテナとコイルアンテナが離れ過ぎているため通信できません。

取り付け例1



車両側のアンテナ部分

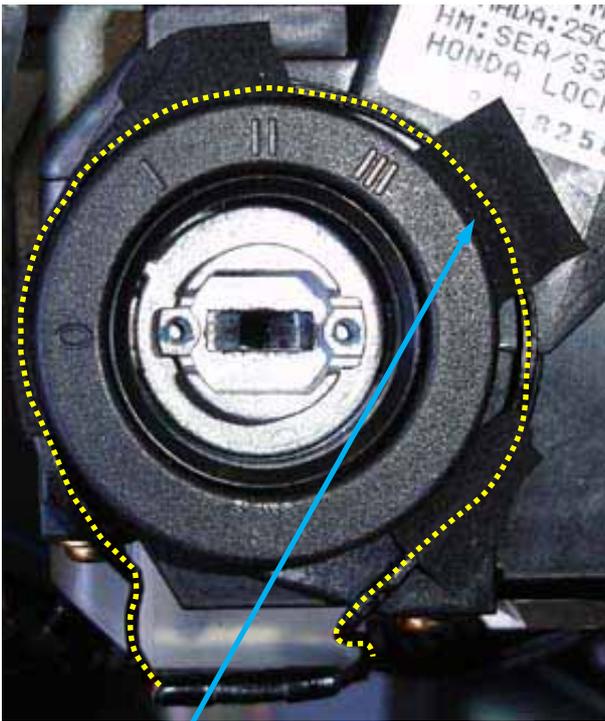
ここに受信用アンテナコイルが巻かれています。

実際のコイルアンテナのサイズ

車両側のアンテナ部のサイズに合わせて絞り込む必要があります。

当社推奨の貼付位置

車両側のアンテナとイモビバイパスアダプターのコイルアンテナが近い距離であることが必要です。

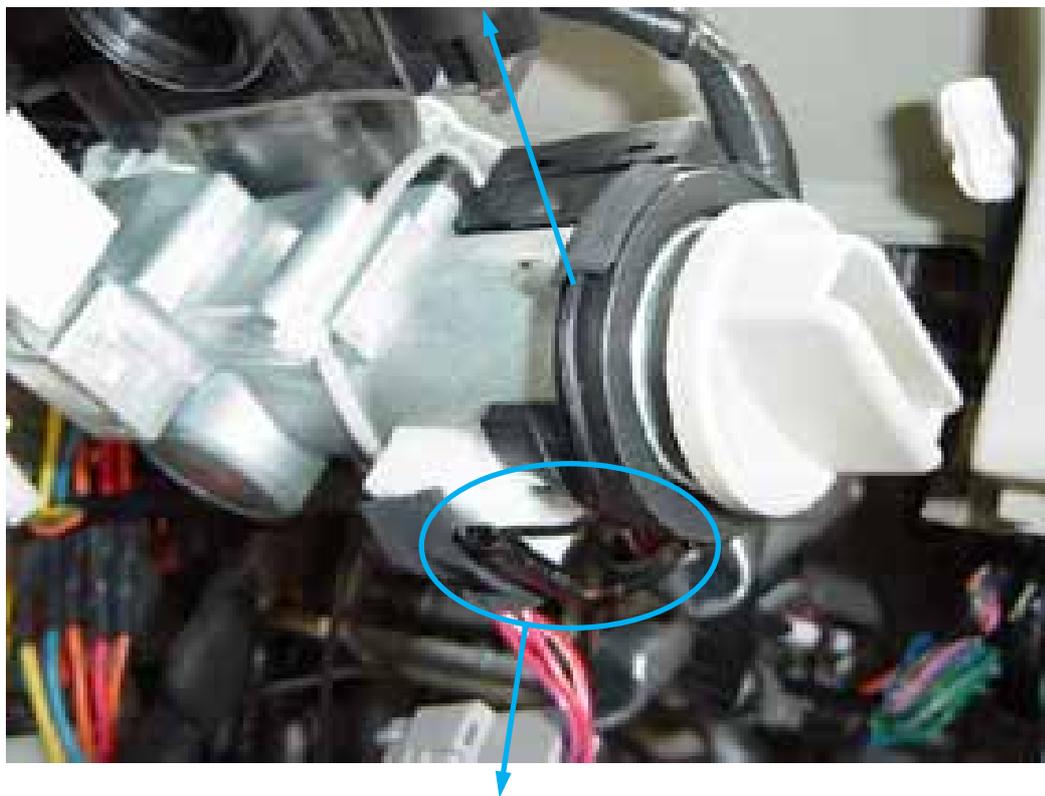


コイルアンテナは極力車両側のアンテナ部に近づけた状態で貼り付けます。
同梱のクッションテープは、コイルアンテナに巻きつけるのではなく、コイルアンテナを車両に貼り付ける場合にご使用ください。

コイルアンテナの余った部分はキーシリンダーの下側へ曲げて固定してください。

取り付け例2

コイルアンテナをフォーミング車両アンテナと近い位置に固定してください。



コイルアンテナの余った部分はキーシリンダーの下側へ曲げて固定してください。



注) コラムカバー取り付けの際はコイルアンテナと接触しないよう注意してください。
接触し取り付け位置が変わってしまった場合、通信不良となります。